

『紙芝居作成と読み聞かせ』の簡易概要

紙芝居は、これまでの附属幼稚園の「避難訓練の実施計画」や「行動観察の知見」を踏まえつつ、避難訓練内容に合致し発達の実情に応じた事後指導としての役目を果たすことを目指して作成されました。読み聞かせは、今年度の避難訓練（火災1回目）が実施された2日後に事後指導としての役目を担う形で実践されました。紙芝居の読み聞かせの前には、担当のクラスの幼児の観察等も実施しました。

作成された紙芝居

A グループ：「はあ～よかった」

1日の中で火災が起こりうるいくつかの場面を提示し、どうすれば良いかを示しながら「はあ～よかった」を繰り返す物語。また、避難訓練で良く提示される防犯標語「おはしも」も巧みに取り入れたものとなっています。



B グループ：「どうすればよかったかな？」

火災時に避難する際、幼児がやってしまいがちな行動事例を提示し、各行動がもたらす事態の大変さを踏まえ、妖精が時間を戻して適切な行動を導く物語。また、タイムトラベル時の表現、幼児と幼稚園の先生との信頼関係も巧みに取り入れたものとなっています。



紙芝居の読み聞かせ時の一部

Aグループ：「はあ～よかった」



Bグループ：「どうすればよかったかな？」



幼児が創出した「自作の絵本」



*幼児の名前部分を加工等せずオリジナルに近い形で絵本の画像を掲載することについて、保護者さま・附属幼稚園よりご承諾いただいています。